



## 平成30年分 貿易概況（速報）

### 東京港 輸出は2年連続の増加、輸入は2年ぶりに減少、 輸入超過は18年連続

輸出は 60,395億円、前年比 3.0%増。  
半導体等製造装置、電気計測機器及び化粧品類等が増加。  
輸入は 116,520億円、前年比 0.4%減。  
I C、医薬品及び電算機類等が減少。

### 成田空港 輸出は6年連続の増加、輸入は過去最大、 輸入超過は8年連続

輸出は 114,621億円、前年比 2.6%増。  
半導体等製造装置、I C及び電気回路等の機器等が増加。  
輸入は 136,962億円、前年比 11.9%増。  
医薬品、原動機及び電算機類等が増加。

### 羽田空港 輸出は2年ぶりに減少、輸入は過去最大、 輸入超過は9年連続

輸出は 3,629億円、前年比 20.9%減。  
再輸出品、映像記録・再生機器及び電気回路等の機器等が減少。  
輸入は 9,822億円、前年比 15.1%増。  
科学光学機器、I C及び医薬品等が増加。

（単位：億円）

	輸出額			輸入額			差引額
	価額	伸率	全国比	価額	伸率	全国比	価額
東京港	60,395	3.0% 2年連続の増	7.4%	116,520	▲0.4% 2年ぶりに減	14.1%	▲56,125 18年連続の輸入超過
成田空港	114,621	2.6% 6年連続の増	14.1%	136,962	11.9% 2年連続の増	16.6%	▲22,342 8年連続の輸入超過
羽田空港	3,629	▲20.9% 2年ぶりに減	0.4%	9,822	15.1% 5年連続の増	1.2%	▲6,192 9年連続の輸入超過
管内	181,220	2.2% 2年連続の増	22.2%	271,603	6.4% 2年連続の増	32.8%	▲90,382 18年連続の輸入超過
全国	814,866	4.1% 2年連続の増	100.0%	826,899	9.7% 2年連続の増	100.0%	▲12,033 3年ぶりに輸入超過

為替レート：税関長公示レートの平均値  
平成30年分

米ドル換算  
110.50円/米ドル

平成29年：112.33円/米ドルと比べ1.6%の円高

- 注1. 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額によるものである。  
東京港（東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所）、  
成田空港（東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所）、  
羽田空港（羽田税関支署）、  
管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港（新潟税関支署、東港出張所）、直江津港（直江津出張所）、  
柏崎港（柏崎出張所）、新潟空港（新潟空港出張所）、酒田港（酒田税関支署、山形出張所）を含む。
- 注2. 「伸率」は対前年伸率を示す。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関の資料による旨を注記して下さい。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関調査部調査統計課まで。（TEL 03-3599-6385）
3. 東京税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/tokyo/>

## ●東京税関管内 平成30年速報値

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	半導体等製造装置	11,838	26.9	6.5
主 要 品 目 2	科学光学機器	8,766	3.0	4.8
主 要 品 目 3	電気回路等の機器	6,969	-3.1	3.8

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	半導体等製造装置	11,838	26.9	6.5	中国
増 加 2 位	電気計測機器	5,759	16.6	3.2	米国
増 加 3 位	内燃機関	5,611	13.1	3.1	米国
減 少 1 位	映像記録・再生機器	1,132	-37.5	0.6	中国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)
対米国	35,635	2年連続の増	内燃機関	3.8
対E U(注3)	23,067	3年連続の増	有機化合物	3.7
対アジア	109,528	2年連続の増		3.8
対中国(注4)	48,625	2年連続の増	半導体等製造装置	1.5
対ASEAN(注5)	33,845	2年連続の増	I C	5.9

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	通信機	21,849	-2.2	8.0
主 要 品 目 2	医薬品	18,262	17.4	6.7
主 要 品 目 3	I C	16,584	4.2	6.1

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	医薬品	18,262	17.4	6.7	米国
増 加 2 位	原動機	8,034	18.2	3.0	英国
増 加 3 位	科学光学機器	13,581	9.1	5.0	米国
減 少 1 位	通信機	21,849	-2.2	8.0	中国

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)	輸出入差引額(億円)
対米国	41,516	2年連続の増	原動機	4.2	-5,880
対E U(注3)	48,495	2年連続の増	医薬品	13.6	-25,429
対アジア	151,375	2年連続の増		4.2	-41,847
対中国(注4)	82,122	2年連続の増	有機化合物	1.6	-33,498
対ASEAN(注5)	42,275	2年連続の増	衣類・同附属品	5.9	-8,430

## ●東京港 平成30年速報値

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	自動車の部分品	4,144	2.2	6.9
主 要 品 目 2	半導体等製造装置	3,778	88.7	6.3
主 要 品 目 3	電算機類の部分品	3,334	-5.3	5.5

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	半導体等製造装置	3,778	88.7	6.3	中国
増 加 2 位	電気計測機器	1,843	32.4	3.1	台湾
増 加 3 位	化粧品類	1,339	32.0	2.2	中国
減 少 1 位	電気回路等の機器	1,986	-21.5	3.3	中国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)
対米国	16,034	2年連続の増	無機化合物	3.1
対E U(注3)	8,033	4年連続の減	I C	-1.7
対アジア	32,884	2年連続の増		4.2
対中国(注4)	15,475	2年連続の増	半導体等製造装置	3.7
対ASEAN(注5)	10,565	3年ぶりに増	自動車の部分品	7.1

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	衣類・同附属品	10,081	7.8	8.7
主 要 品 目 2	電算機類	5,658	-10.7	4.9
主 要 品 目 3	魚介類・同調製品	5,386	-2.2	4.6

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減 少 1 位	I C	2,504	-24.7	2.1	台湾
減 少 2 位	医薬品	2,024	-25.6	1.7	スイス
減 少 3 位	電算機類	5,658	-10.7	4.9	中国
増 加 1 位	衣類・同附属品	10,081	7.8	8.7	ベトナム

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)	輸出入差引額(億円)
対米国	12,254	9年ぶりに減	原動機	-7.4	3,780
対E U(注3)	14,200	2年連続の増	通信機	3.8	-6,167
対アジア	79,829	2年連続の増		0.4	-46,945
対中国(注4)	44,843	2年ぶりに減	電算機類	-1.2	-29,368
対ASEAN(注5)	22,792	2年連続の増	衣類・同附属品	3.6	-12,228

## ●成田空港 平成30年速報値

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	半導体等製造装置	7,977	11.0	7.0
主 要 品 目 2	科学光学機器	7,058	5.9	6.2
主 要 品 目 3	I C	5,046	12.3	4.4

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	半導体等製造装置	7,977	11.0	7.0	中国
増 加 2 位	I C	5,046	12.3	4.4	シンガポール
増 加 3 位	電気回路等の機器	4,903	9.6	4.3	米国
減 少 1 位	映像記録・再生機器	829	-38.1	0.7	中国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)
対米国	18,984	2年連続の増	内燃機関	5.1
対E U(注3)	14,475	3年連続の増	有機化合物	10.0
対アジア	71,839	2年連続の増	半導体等製造装置	4.5
対中国(注4)	31,433	2年連続の増		1.5
対ASEAN(注5)	21,257	2年連続の増	I C	6.0

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	通信機	19,127	-0.5	14.0
主 要 品 目 2	医薬品	15,858	24.9	11.6
主 要 品 目 3	I C	12,967	10.3	9.5

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	医薬品	15,858	24.9	11.6	スイス
増 加 2 位	原動機	6,065	41.0	4.4	米国
増 加 3 位	電算機類	10,403	14.7	7.6	中国
減 少 1 位	通信機	19,127	-0.5	14.0	中国

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)	輸出入差引額(億円)
対米国	27,015	2年連続の増	原動機	13.9	-8,031
対E U(注3)	29,737	3年ぶりに増	医薬品	13.4	-15,262
対アジア	64,042	2年連続の増	電算機類	8.8	7,797
対中国(注4)	33,890	2年連続の増		6.4	-2,457
対ASEAN(注5)	16,468	2年連続の増	半導体等製造装置	6.2	4,789

## ●羽田空港 平成30年速報値

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	再輸出品	2,123	-14.8	58.5
主 要 品 目 2	金属製品	242	62.2	6.7
主 要 品 目 3	個別半導体	184	771.8	5.1

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減 少 1 位	再輸出品	2,123	-14.8	58.5	英国
減 少 2 位	映像記録・再生機器	4	-98.5	0.1	米国
減 少 3 位	電気回路等の機器	71	-61.3	1.9	中国
増 加 1 位	個別半導体	184	771.8	5.1	タイ

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)
対米国	457	3年連続の減	映像記録・再生機器	-24.9
対E U(注3)	390	2年ぶりに減	再輸出品	-43.3
対アジア	2,694	4年ぶりに減	電気回路等の機器	-15.1
対中国(注4)	994	4年ぶりに減		-20.0
対ASEAN(注5)	1,279	4年ぶりに減	再輸出品	-4.9

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	航空機類	1,650	16.4	16.8
主 要 品 目 2	科学光学機器	1,144	146.9	11.6
主 要 品 目 3	I C	1,113	35.7	11.3

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	科学光学機器	1,144	146.9	11.6	アイルランド
増 加 2 位	I C	1,113	35.7	11.3	シンガポール
増 加 3 位	医薬品	374	170.2	3.8	フランス
減 少 1 位	電算機類	410	-38.1	4.2	中国

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		増減品目	対前年伸率(%)	輸出入差引額(億円)
対米国	1,696	2年連続の減	原動機	-29.2	-1,238
対E U(注3)	4,275	3年連続の増	科学光学機器	62.3	-3,885
対アジア	3,448	2年連続の増	電算機類	9.8	-755
対中国(注4)	1,133	2年ぶりに減		-24.1	-139
対ASEAN(注5)	1,678	3年連続の増	I C	51.0	-399

(注) 1 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格による。

2 伸率及び増加・減少は全て対前年比による。

3 対EUの貿易額は28か国の実績。

4 対中国の貿易額には対香港及び対マカオの貿易額を含む。

5 対ASEANの貿易額は10か国の実績。

6 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に設置された貨物の通関額によるものである。

東京港(東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所)、

成田空港(東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所)、

羽田空港(羽田税関支署)、

管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港(新潟税関支署、東港出張所)、直江津港(直江津出張所)、柏崎港(柏崎出張所)、新潟空港(新潟空港出張所)、酒田港(酒田税関支署、山形出張所)を含む。